

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に遵守したスペースを確保しています。活動（課題と余暇）の目的に合わせてスペースを設定し、落ち着いた環境で取り組めるように配慮しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は指導員、保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。平成28年度 サービス提供時間（子どもたちのご利用時間）に1日平均6名（児童発達支援管理責任者を含む）を配置致しました。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			視覚的支援やレイアウトの見直しなど、ご利用者に合わせた環境設定をしています。2階のため、身体障害の方にはご不便をお掛け致しますが、現在ご利用中の利用者には概ね問題ありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			スタッフ間で支援を振り返り、必要に応じて業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成29年9月に保護者アンケートを実施し、結果や改善状況、今後と取り組みについて保護者様にご報告させて頂きました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ご覧の通り、ホームページに公開致しました。
適切な支援の提供	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			平成29年11月、西宮市児童通所支援事業所の所属団体の皆さまにご来所頂き、外部評価を実施しました。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修、外部研修、施設見学、現任訓練研修を実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			インフォーマルなアセスメント（オリジナルのアセスメントツール）を行い、子どもたちへの理解に努めるとともに、保護者様のニーズや課題などを踏まえて個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		個別療育ご利用者につきましては、事業所のオリジナルのアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的なミーティングを通じて、プログラムの内容を立案し実施しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			新しい課題、地域活動や余暇活動、外出先などを取り入れて、固定化しないように工夫しています。	

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日は個別課題を中心に設定、休日や長期休暇は個別課題に加え、地域での活動や余暇活動などきめ細やかに設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々のニーズを大切にしながら活動内容を検討し、計画にも反映しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	毎回、プログラム、スタッフの各役割、注意事項などを確認しています。打ち合わせの不在職員でもわかるように予定表をノートに掲示して周知しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	送迎等で参加できるスタッフが少ない日は難しいですが、出来る日に限り実施しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々のサービス提供の記録をもとに、プログラムや個別支援の検証や改善につなげています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		常勤職員(児童発達管理責任者・児童指導員)が日々の様子を取りまとめ、定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインの基本活動として、ア)自立支援と日常生活の充実、イ)創作活動、ウ)地域交流の機会の提供、エ)余暇の提供の4項目が挙げられます。当事業所では、ア・イ・エの組み合わせを中心に個々のお子さまのニーズに対応できるように支援しております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どもと一番関わりの多い常勤スタッフもしくは児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校からの情報の提供(プリントを含む)やカンファレンス等で支援や情報の共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	看護師等のサポートが必要なお子さま(医療的なケアが必要なお子さま)は、現在ご利用しておりません。必要な事例ができた場合に適切な判断をしております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		新1年生のご利用前には、カンファレンス等に参加し、就学前の事業所と情報交換を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		カンファレンスなどで支援内容などを情報提供するようにしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターや西宮市児童通所支援事業所連絡会が主催する研修会に参加をしています。

	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	当事業所では、特色ある個々に合わせたサービス提供を行うことを目指しているため、本項目については限られた時間内で難しいため実施をしていません。但し、外出時には地域の子どもたちが参加する場所にも出掛けるなど、一緒に空間で過ごすことを大切にしています。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			西宮市児童通所支援事業所連絡会に所属し、代表者が協議会等に参加をし、報告を受けています。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご来所時、送迎時、連絡帳、懇談などで保護者様にご報告をし、共通理解を図れるようにしています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家庭での対応方法について、ご相談を頂いたことは、可能な限り情報提供を行っています。不定期で、保護者や関係機関を対象に研修会等を実施しています。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をするとともに、事業所内入口にも掲示しています。個別の具体的な質問があった場合には、説明をさせて頂いています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談を頂いたことについては、可能な限り助言等を行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会や保護者会は実施しておりません。今後、必要であれば検討させて頂きます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所に、受付者・解決責任者を決め、苦情(その可能性がある場合も含む)があった場合には、調査をした上で、迅速かつ適切に対応に努めています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に会報(プロップだより)の発行や、各種行事については掲示版に案内しています。緊急時の伝達方法についても、平成29年9月に発信し、今後も定期的に発信を予定しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできるパソコンはパスワード設定をしています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の状態やご希望に合わせて、視覚支援(写真や動画、絵カード)を取り入れて、意思の疎通や情報伝達を行っています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待するような行事は実施していません。近隣の学生などを中心に、積極的にボランティアなどを受け入れしています。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを整備し、供覧するとともに、スタッフ研修などで周知しています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			平成29年6月に西宮消防局立ち合いのもと、消火・避難訓練を実施しました。今年度も2回実施する予定です。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		兵庫県、関係事業所が主催する研修会に参加しています。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束に関するマニュアルを整備しています。但し、身体拘束を行うようなケースは今まで一度もありません。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示のもと、保護者様からの報告に基づいて対応しています。全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、該当物質との接触がないように留意しています。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった場合、報告書を作成し、職員間で共有をしています。